

Protection Wall

■ 日本各地には古くからの遺影を残す伝統的な街並みが数多く存在する。
 そのような中でも、旧街道沿いなどに残る宿場町は木造建築が密集し、独特の景観を醸している。
 しかし、こうした木造建築による街並みは火災に非常に弱いという側面を持つ。要するに、現在これらの街並みは、「景観の保存」と「防火対策」という相矛盾する問題を同時に抱えているのである。

よって、この問題を解決すべくファイアライトによる『Protection Wall』を提案する。

■ファイアライトの特性を最大限に活かした『Protection Wall』は、2枚のファイアライトの間に空気を挟み込んだ中空の「透明な壁」である。

■『Protection Wall』は、伝統的街並みを形成する民家と民家の間のわずかな隙間に設置される。

■透明な壁『Protection Wall』は、景観の保存を最優先に考え、最大限の防火効果をもたらすべく設置される。

■また『Protection Wall』の内側には液晶シートが貼られ、透明度を自由に変えることも可能である。
 昼間、存在を消し建物の間ひっそりと佇む『Protection Wall』は、夜になると「半透明のBOX」となり、内部からのライティングによる日本の暖かい光で街道を照らし、静かにその存在を主張する。

